

6月定例会で活発な議論重ねる ～住み続けられる介護ケアにの仕組みについて～



さいたま市議会 6月定例会、討議の様様

6月定例会で審査した議案、請願の多くが、保健福祉委員会で審議されました。どれも福祉向上に関わる大切なテーマです。先議分を含み委員会で2回、本会議におきましても委員長報告に賛成の立場で2回の討論を行いました。前年度の委員会報告もあり、6月は本会議で三度壇上に立ちました。とくに採決前の討論では市民からの要望が多かった「住み慣れたまちに、いつまでも住み続けられる」ような、介護ケアの仕組みが必要であると訴えました。

※議事録の詳細は、今後さいたま市議会ホームページに掲載されます。



思い出の里市営霊園に新たな墓地施設を整備

さいたま市には、思い出の里市営霊園、青山苑墓地、諏訪入墓地、諏訪入第2墓地、善前墓地の5ヶ所、2万4千区画の市営墓地があります。平成24年度以降は新規募集を行わず、返還された墓地の再募集のみをおこなってきました。「新たな墓地施設を」との皆さまの高いニーズにお応えするため、思い出の里市営霊園内（見沼区）に樹林型合葬式墓地施設を整備することが決定し、設置工事費用が今回の補正予算に計上されました。

樹林型合葬式墓地施設とは、樹林の下に共同の収容施設をつくり多くのご遺骨をまとめて埋葬するものです。この整備によって、平成31年度から年間500体の募集が今後20年間にわたって行われる予定です。本会議では、会派を代表して「市民の待ち望んでいた事業である」と賛成の討論をしました。



樹林型合葬式墓地のイメージ